

【資料 7】

舟橋村子育てコミュニティを利用している村民アンケート結果

1. アンケート実施の趣旨

令和4年6月に実施した「舟橋村地方創生事業に関する村民アンケート」に続き、子育てコミュニティ(子育て支援センター、学童保育)を利用している村民に対して、地方創生事業に関するアンケートを行った。アンケート期間は、令和4年7月6日から7月15日までとした。

2. アンケート結果

利用者40名のうち30名(75.0%)から回答があった。

なお、設問には20歳代から40歳代まで10歳刻みでの質問項目を設けたが、20歳代の回答者が2名であったので年代別には集計しなかった。

3. アンケートの結果概要

- ① -1 子育て支援アプリ「子育てシェア」の活用(送迎託児、子どもの預かり合い、不用品の交換、又はイベント情報の発信など)について聞いた。
 - a, 「使い勝手が良かった」が約17%に対して、「使い勝手が良くなかった」が約33%と多い。
 - b, 「アプリのことを知らなかった」人が約23%いたうえ、「知っていたが登録しなかった」が約17%となっている。
- ① -2 アプリを使って、他の登録者に主体的に発信したさいの相手の反応について聞いた。
 - a, 「主体的に情報発信したことが無い」が88%と、情報に対して受動的態度をとる人が圧倒的に多い。
- ② 子育て支援アプリの開発者AsMamaが様々なイベント等で、コミュニティづくりやリーダーの育成をしていたことについて、子育て共助のまちづくりの機運の醸成にどれだけ効果的であったかを聞いた。
 - a, 回答者の約半数がイベントに参加しているが、参加した人のうち「効果的だった」が約19%、「効果的でなかった」が約38%であった。
 - b, 自由記載欄に、「こども園の送迎等で親同士が既にライン等でつながっていたり、小さな村のため集まる場所も決まっており、敢えて支援アプリの必要性が無かったように思う。」という意見があった。
- ③ 公園イベント(月イチ園むすび、ママテリア、マルシェなど)について効果を聞いた。

- a, イベントに参加した人のうち「役に立った」が約81%と高率のうえ、「イベントを知らなかった」とする人がいなかった。
- b, 自由記載でも、好評価の意見が多かった。

④ 子育てコミュニティの形成に、村に期待することを聞いた。

- a, アプリよりも、人と実際に交流できる場が求められている。
- b, 保育園の待機児童の解消が求められている。
- c, 子育て支援には、他の世代の関りも期待されている。

※上記④からは、「共働き世帯への子育て支援」の充実という課題が抽出された。

[質問1]

令和3年11月末まで村が運用していた子育て支援アプリ「子育てシェア」の活用(送迎託児、子供の預かり合い、不用品の交換、又はイベント情報の発信など)について伺います。

(1)ご自身でアプリを利用して、どうでしたか？

選択肢	人数	割合%
①大変、使い勝手が良かった。	1	3.3
②まあ、使い勝手が良かった。	4	13.3
③どちらとも言えない。	3	10.0
④あまり使い勝手が良くなかった。	10	33.3
⑤まったく使い勝手が良くなかった。	0	0
⑥知っていたが、登録しなかった。	5	16.7
⑦アプリのことを知らなかった。	7	23.3

30

[そう思った又は登録しなかった理由、その他の意見]

- ・子供を預けたり、イベントの参加などアプリで簡単にできた。
- ・学童保育のためのみに登録した。
- ・平日や日中のイベントが多く、働いていると参加できなかった。
- ・知らない人から通知が来るので、怖い。
- ・アプリだけのつながりで、自分の子供を預ける人はいるのでしょうか？
- ・興味を持てるものが少なく、活用しなかった。
- ・そもそも、村としてアプリのことを発信されていなかったのでは？

(2)このアプリを使って、あなたが他の登録者に対して主体的に情報発信したさいの反応(返信など)はどうでしたか？ ※上記(1)のうち、①から⑤までを選択した人が回答した。

選択肢	人数	割合%
①好評だった。	0	0
②まあ、好評だった。	0	0
③どちらとも言えない。	1	6.0
④あまり反応は良くなかった。	1	6.0
⑤まったく反応は良くなかった。	0	0
⑥主体的に情報発信したことは無い。	16	88.0

18

[そう思った理由、その他意見]

- ・学童のお休み連絡のみに使用していたので、他の用途で使うことは無かった。(複数)
- ・忙しくて、他の登録者と関わろうという気持ちがなかった。
- ・情報が発信できるとは、知らなかった。(複数)

[質問2]

子育て支援アプリ「子育てシェア」の開発者AsMamaは、いろいろなイベント等も開催しながらコミュニティづくりやリーダーの育成をしていましたが、子育て共助の機運の醸成に効果的でしたか？

選択肢	人数	割合%
①効果的だった。	0	0
②まあ、効果的だった。	3	10.0
③どちらとも言えない。	7	23.3
④あまり効果的でなかった。	4	13.3
⑤まったく効果的でなかった。	2	6.7
⑥イベント等に参加したことが無いので、わからない。	14	46.7

30

[そう思った又はイベントに参加しなかった理由、その他意見]

- ・こども園の送迎等で親同士が既にライン等のアプリでつながっていたり、小さな村のため集まる場所も決まっており、敢えて支援アプリの必要が無かったように思う。
- ・興味あるものが無かった。
- ・周囲にも参加している人がいなかった。
- ・両親ともにフルタイム労働のうえ、子供の習い事、宿題などで忙しい。

[質問3]

公園イベント(月イチ園むすび、ママテリア、マルシェ、その他)について

選択肢	人数	割合%
①大いに役立った。	9	30.0
②まあ役に立った。	13	43.3
③どちらとも言えない。	3	10.0
④あまり役に立たなかった。	2	6.7
⑤まったく役に立たなかった。	0	0
⑥イベントに参加又は利用したことが無い	3	10.0
⑦公園イベントを知らなかった。	0	

30

[そう思った又は参加しなかった理由、その他意見]

- ・月イチ園むすびは、毎月、とっても楽しみにしています。
- ・子供たちが喜んでいる。
- ・公園イベントは、子供が喜んでいる。
- ・親子共々、園むすびのイベントは、毎月楽しみにしている。
- ・特に、水曜日の駄菓子イベントが楽しい。子供が毎週楽しみにしている。
最高のイベントだと思います。
- ・有意義とを感じるイベントがあった。
- ・親同士のコミュニケーションの場にもなった。
- ・ほとんど参加していない。
- ・生活が忙しく、スケジュール上時間が取れない。

[質問4]

今後、子育て共助のコミュニティ(子育て世代だけでなく様々な世代を含む)の形成や維持をするうえで、村に期待することは何ですか？

[自由記載]

- ・いろいろなイベントにもっと参加したい。
- ・アプリ等でなく、ご近所さんと交流課できるイベントの開催など。
- ・オレンジパークにもう少し遊具や日陰になる休憩スペースを作って、
利用しやすくして欲しい。
- ・保育園、こども園の受け入れ態勢の充実。
- ・まずは、保育園に全員受け入れられるようにしてほしい。

- ・ 親が安心して仕事ができるよう、保育園問題をどうにかして欲しい。
入りたい人がすべて入れて、初めて待機児童が解消すると思う。
だから、まだ解決していないと思う。
 - ・ 待機児童の解消。
 - ・ 村の子ども全員が村の保育園に入れるようにしてください。
 - ・ 1学年あたりの子供の数が少ないために、父母の会や育成会、自治会活動に参加しなければならない機会が多々ある。役員になってしまうと、とてもしんどく感じている。住む前は子育てに優しい村と思っていたが、働く保護者の負担の軽減を村として一歩進んだ取り組みをしてもらいたい。
 - ・ 村民の意見をしっかりと聞いて欲しい。
 - ・ 村民の生の声をしっかりと聞いて欲しい。
 - ・ 小中学校を一貫校化(制服、運動服を統一)
 - ・ 特に不満など無いので、期待していません。
 - ・ 情報の共有。
 - ・ おたよりばさみにはさんであると、見る・知る機会になる。
-
- ・ 子育てを終えた方達がもっと気軽に子育てを手伝ってもらえるようにして欲しい。共働きでは、子育て中の者同士が預け合うのは難しい。
 - ・ 今のままで、十分満足です。